第1章:聴覚障害について~聞こえないってどういうこと?①

「聴覚障害」とは、音の聞こえに関わる部位に障害があり、音が聞こえない、または聞こえにくい状態のことをいいます。聴覚障害があると、講義を聞くことができない、まわりの人とのコミュニケーションがとりにくいなど、大学生活においても不便が生じます。

7

まったく聞こえないのですか?

ひとくちに聴覚障害といっても、**聞こえの程度や聞こえ方は個人差があります。みんながまったく聞こえないというわけではありません。**

WHO(世界保健機関)では、両耳の平均聴力が 25 デシベル[dB]以上の状態を聴覚障害としています。 障害の程度を分類すると、右表のようになります。



デシベル[dB]とは何ですか?

デシベル[dB]は音の大きさを表す単位です。 健聴者が聞きとれる最小の音の平均を OdB とし、 数字が大きくなるほど大きな音を示します。

「聞きとれる最小の音(域値)」で表すので、**数字が** 大きいほど聞こえにくいということを意味します。

聴力 (音の大きさ)		聞こえの程度	
	OdB	健聴者が聞きとれる最小の音	
	20dB	静かな会話	軽度
	40dB	並済の託書	中等度
	COAID	普通の話声 	準等度
	60dB	大きな声の会話	 重度
	80dB	どなり声	基 皮
	100dB	耳元での叫び声	最重度
	120dB	かなり近くからのサイレン	

《聴覚障害の程度》

P

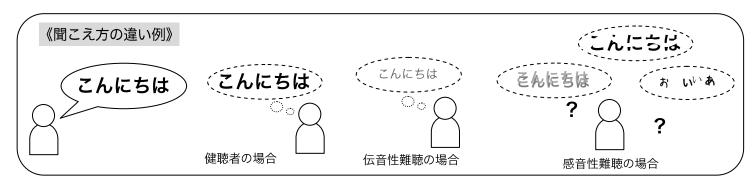
聴力レベルが同じだと、皆同じように聞こえるのですか?

いいえ。同じ聴力レベルの人でも、ある人は音が歪んで聞こえたり、またある人は高い音が聞こえにくかったりと、聞こえの状態は人によってさまざまです。聴力レベルだけで聴覚障害者の聞こえの状態を推測するのではなく、あくまでも目安と考えた方がよいでしょう。

聴覚障害は障害の部位により、大きく伝音性難聴と感音性難聴の2つに分けることができます。

- ◆伝音性難聴…音が小さく聞こえます。
- ◆感音性難聴…音が小さく聞こえるだけでなく、音が歪んだり、 途切れたり、高音だけが聞き取りにくかったりします。

これら**2つが合併した混合性難聴の場合もあります。**一般的には感音性難聴のほうが聴覚障害の程度は重くなります。

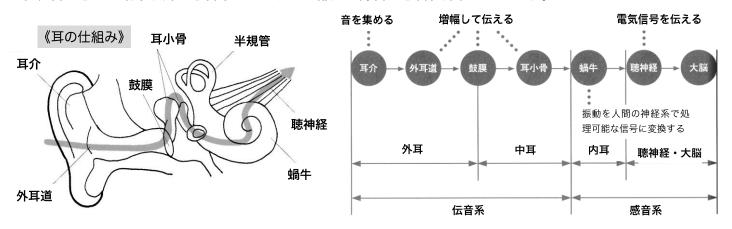


第1章:聴覚障害について~聞こえないってどういうこと?②



参考 間こえの仕組みと障害

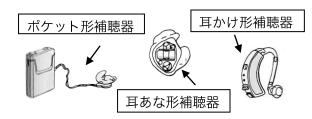
「音」の振動は、耳介→外耳道→鼓膜→耳小骨→内耳へと伝達され、その後、蝸牛で電気信号に変換され、 大脳に届けられます。音を伝える耳介から耳小骨までを伝音系といい、この部分に障害がある場合を伝音性難 聴、音を感じる蝸牛以降を感音系といい、この部分の障害を感音性難聴といいます。



補聴器を使うと聞こえるんですよね?

補聴器の効果には個人差があります。補聴器は音を大きくして伝える機械なので、音が小さく聞こえる伝音 性難聴の人には、効果が期待されると言われています。しかし、**感音性難聴の場合、音が歪んでしまうので、** 「音が存在する」ということはわかっても、ことばとして聞き分けることは難しくなります。

また、補聴器は周囲にある音をすべて増幅してしまうため、 普段静かな場所では補聴器を通してよく聞こえている人でも 雑音がある場所では聞こえにくくなったりします。



<u>発音がはっきりしている人はよく聞こえているのですか?</u>

聴覚障害者の多くは、子供の頃から声を出す指導を受けていますが、その明瞭さはまちまちです。

一般的には聴覚障害の軽い人は発音も比較的明瞭なことが多いのですが、発音を身につけた後、聞こえなく なった人の場合、まったく聞こえていなくても発音が明瞭な場合があります。発音がはっきりしているからと いって、よく聞こえているとは限りません。

また、聴覚障害者は、聞こえていなくても周りの様子から推測して行動することも多いので、その状態を見 て「聞こえているのだろう」と思ってしまうのも誤解のもとです。

[その他の関連語句]

- ○**聾者と難聴者**: 医学的には両耳 100dB 以上の聴覚障害を持つ人を『全ろう』といいます。 また聴力に関わらず、聾学校卒業者や日本手話使用者を『聾者』と呼ぶ場合もあります。 統一された基準はないため、本人が『自分は難聴者』と思うか『自分は聾者』と思うかによ るところが大きくなります。
- ○人工内耳:内耳に電極を埋め込み、聴覚神経を刺激して音の信号を脳に伝える機器です。補聴器と違い、 感音性難聴にも効果があると言われていますが、その効果は個人差があり、リスクもあります。

第2章:聴覚障害者が感じるハンディキャップ

聴覚障害は「見えない障害」といわれ、外見からは障害の有無がわかりません。

そのため、聴覚障害者が抱えるハンディキャップも気づかれにくい側面があります。聴覚障害者が生活のう えで抱えているハンディキャップには次のようなものがあり、それぞれに対して適切なサポートが必要です。



聴覚障害者が感じるハンディキャップ

◆コミュニケーションの仕方を 理解してもらえない

意思疎通ができず、もどかしい 思いをすることがあります。



◆放送や連絡がわからない

校内放送や駅のアナウンスの内容 がわからず、必要な情報が得られな いことがあります。



◆授業がわがらない

授業に出席しても内容がつかみ にくく、教科書や書かれた文字を 読んでいるだけになります。



◆友達や同僚との会話に入れない

まわりの学生が笑っていても、聴 覚障害学生には会話の内容がわか らないことがあります。



◆音に反応する行動がとれない

周囲の音から状況を判断して行動す ることができない時があります。



◆呼び出しや放送がわからない

名前を呼ばれたり、大事な連絡があっても わからないことがあります。



◆討論についていけない

他の学生との意見交換が目的の ゼミにおいては、討議に参加する ことが難しくなります。



❷ 考えてみよう!

- ◆上記以外に生活の中でどのようなハンディキャップ があるでしょうか?
- ◆聴覚障害者に対して、どのようなサポート・配慮が 必要でしょうか?



どのようなサポートが可能ですか?

状況や相手に合わせたサポートが必要になります。

- ◆周囲の人が、聴覚障害やコミュニケーション方法について理解し、本人に合う形でコミュニケーションをと っていく。
- ◆車・自転車が近づいてきた時は、周りの人が気付かせてあげる。
- ▶ノートテイクや手話通訳を手配する。
- ◆音声情報を、字幕や掲示板、メールなどの文字情報に変換して伝える。
- ◆振動式呼び出し器、お知らせランプなど、振動や光で伝える機器を用いる。



改善されつつあるハンディキャップ

【映画の字幕】以前は洋画にしか字幕がつきませんでしたが、現在では日は限られているものの字幕つきの 邦画を放映する映画館も増えてきています。この情報は映画館 HP から確認できます。

【インターネット・携帯電話】これらにより聴覚障害者の情報収集やコミュニケーションの幅が広がりました。 【運転免許】以前は運転免許取得ができませんでしたが、2008年に条件付きで取得できるようになりました。

第3章:コミュニケーション方法について①

聴覚障害者とのコミュニケーション方法には、以下の方法などがあります。

- ◆筆談…紙などに文字を書いて伝える方法
- ◆口話…話し手の唇の動きをもとに、ことばを読み取る方法
- ◆手話…手や表情、上体の動きを用いてことばを伝える方法
- ◆その他…身ぶり、空書き、キュードなど

▋ コミュニケーションに必要な心構え

◆本人の望むコミュニケーション手段を理解する

相手や状況に適したコミュニケーション方法があります。本人に確認しましょう。**どの手段を中心に用いるかは、本人の考え方や聴力、失聴年齢、聞こえの状態、教育歴、家庭環境、口話力などによって異なってきます。**一般的には複数のコミュニケーション手段を持ち、相手(手話ができるか、口話に慣れているか)や場面(1 対 1、集団)に応じて使い分けている人が多いようです。

◆軽く合図をし、アイコンタクトをとってから話し始める

聴覚障害者は主に視覚で情報を得るので、まずは視線をこちらに向けてもらいましょう。

◆顔の表情や口元が見えるように気をつける

どのコミュニケーション方法においても重要な要素になります。

◆同時に複数の人が話さないよう注意する

普段通りのペースで話していると、複数の人が同時に話していることが多く、目で追えなくなります。

◆必要に応じてきちんと通訳を手配する

残存聴力での聞き取りや口話には限界があります。

② 筆談とはどのようなものですか?

紙に文字を書いて伝える方法です。確実に情報を伝達することができるコミュニケーション手段です。単独で用いるほか、手話や口話と組み合わせ、確認のためにポイントを書くといった利用方法もあります。 時間がかかるのが難点ですが、積極的に活用したい手段です。

▮ 筆談のポイント

◆読みやすい文字で書く

特に美しく書く必要はありませんが、読みやすい文字で書いてください。

◆アイコンタクトをとりながら

◆曖昧なニュアンスは伝わりにくい

筆談では音声の微妙なニュアンスが伝わりにくいときがあります。

曖昧な表現は避けるとともに、疑問文には"?"をつけるなどの工夫をすると伝わりやすくなります。

第3章:コミュニケーション方法について②

回話(こうわ)とは何ですか?

相手の唇の動きを読み取る方法です。補聴器を通して聞こえてくる音や相手の表情、雰囲気、文脈などを総 **合的にとらえ、ことばを読み取る方法です。** 1 対 1 の会話や、簡単な内容の場合は手軽に使える手段ですが、 「たばこ」と「たまご」など口形が同じで意味の違う言葉や同音異義語、口の動きが小さく読み取りにくい言 葉、が多く存在するため、正確に伝わりにくい方法です。

∭ 口話のポイント

◆絶えず口元を見せる

口話は口元が見えないと通じません。

- ★下や横を向かない
- ★マスクをしたり、手や資料で口を隠したりしない
- ★教室を明るくし、話し手の後ろから照明(逆光)が当たらないようにする
- ★話し手が口髭を生やしていたり、たばこをくわえながら話していると読み取りづらい

◆相手が見ていることを確認してから話し始める

話しかけるときには、軽く相手の肩をたたいたり、相手の顔の前で手をひらひらさせるなどして注意をひ き、こちらを向いたのを確認してから話し始めます。

◆口をはっきりと動かす(ただし、誇張しすぎると伝わりにくい)

口をはっきりとあけ、意味のまとまりごとに区切って話します。ただし、1音ずつ区切って話すような話 し方は、かえってわかりにくくなりますので、自然なリズムで、ややゆっくりめに話すようにします。 × 「こ・ん・に・ち・は」○「こんにちは」

◆伝わっているかを確認する

口話に慣れないうちは「気をつけていても、ついいつものペースに…」ということが起こりがちです。こ うなると聴覚障害者も遠慮して「ゆっくり話して」とは言えず、聞くことをあきらめてしまいます。常に 伝わっているかを確認し、聞こえない人のペースに合わせて話すことが大切です。

◆簡単でわかりやすいことばに言い換える

内容が複雑なときや、口の動きが小さい言葉、口形の似た言葉、普段使わないような言葉などは口の形を 読み取ることが難しくなります。2~3回繰り返して通じないときには、違った表現を用いましょう。

◆ジェスチャーや筆談を積極的に併用する

理解を助けるためにジェスチャーや筆談、空中に指で文字を書く空書などを積極的に活用します。

◆口話に頼りすぎない

口話は健聴者には手軽な手段です。しかし、話し慣れた相手との1対1の会話なら問題なく使用できます が、初めて会う人や、口の形がはっきりしない人の場合、適当に想像してしまうことも少なくありません。 口形を見ただけでは読み取れない語も多く、話の流れに合わせて推測しなければいけないため、受け取っ た情報が本当に正しいのがどうかわからず、聴覚障害者にとっては常に不安な状態にあるのです。

口話体験をしてみよう!

声を出さずに、口話だけで会話をしてみましょう。(その後、筆記やジェスチャーを交えて会話してみよう) 口話が読み取りやすくなる工夫は?読み取りづらい言い回しは?などを実際に体験してみましょう。

第4章:講義保障~ノートテイクについて①

ノートテイクや手話通訳などによって音声を視覚情報に変換し、聴覚障害学生が講義を聞く権利を保障することを講義保障と言います。 口話での会話ができる学生であっても、1 時間以上にも及ぶ授業で、先生の唇の動きを読み取って理解し続けることは不可能に近いので、聴覚障害学生にとっては、多くの授業が「わからない」ものになってしまうのです。

@

講義保障にはどのような手段があるのですか?

情報保障手段には以下のようなものがあり、場面や内容、講義の特性、学生の要望に応じて使い分けます。

- ◆手話通訳…先生の話を手話に変換し、伝える方法です。
- ◆筆記通訳…先生の話を文字にして伝える方法です。
 - ★ノートテイク…先生の話をノートに書き、それを見てもらって伝える方法です。
 - ★パソコン通訳…先生の話をパソコンを用いて入力し、画面を見てもらったり、 スクリーンに映し出して伝える方法です。
 - ★ O H P 通訳… 先生の話を専用の OHP シートに手書きし、スクリーンに映し出して伝える方法です。

② ノートテイクとはどのように行われるのですか?

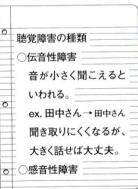
ノートテイクとは音声を文字に変えて伝える方法で、要約筆記通訳とも呼ばれます。

聴覚障害学生が手話を知らない場合や、手話通訳では対応することが難しい講義(数式を多く扱う理系の講義など)、後で残る形の保障が適している講義などに用いられます。

普通のノート



記録としてのノートテイク



通訳としてのノートテイク

次は、聴覚性の障害について説明します。これは大きくふたつに分けられます。 ひとつは、伝音性障害と呼ばれるもの、この場合音が小さく聞こえ、いわゆる耳が遠いというような…

以下では、**「<u>通訳としてのノートテイク</u>」**について説明します。

◆記録としてのノートテイク

講義の記録のためのノートテイク。 手話通訳と併用する場合などに用いられ、 通常より詳しく書いたノートのようなもの

◆通訳としてのノートテイク

今、何が話されているかを伝えるためのノートテイク。単独で用いられる場合にはこちらの方法をとる。通常のノートとは違い、発言者の話の内容をすべて書き写す



ノートテイクは誰でもできますか?

ノートテイクは、**正確に聞き取る**→**理解する**→**要点をつかむ**→**ことばを選び文章にする**→**聴覚障害学生に書いて伝える**というプロセスで行います。

朝礼や簡単な連絡など、日常的で簡単な内容の場合には、誰にでも担当することができます。 講義のような専門的な内容を扱う場合には、それに合った技術訓練や慣れが必要となります。

第4章:講義保障~ノートテイクについて②

② ノートテイクでは、どの程度伝えることができるのですか?

書く速さは 1 分間に 70 文字程度であるのに対し、話す速度は 1 分間に 350~400 文字程度です。

ノートテイクでは、話しことばをそのまま書くのではなく、伝えきれる範囲に要約して書くことになりますの で、限られた情報量の中で、いかに効率よく伝えるかがノートテイカーの仕事となります。

ノートテイクはこのようにして行います

◆聴覚障害学生

他の学生と同様、ノートテイクを見ながら自分のノートをまとめ、板書を写して講義に参加します。

◆ノートテイカーの人数

長時間のノートテイクは過度の疲労をともなうため、講義においては通常 2~3 人のノートテイカー が 15~20 分交代でノートテイクを行います。

◆サポート役

2人のうち1人はサポート役となり、教科書・レジュメの必要箇所を 指したり、メインの人が書きもらした情報を付け加えたりします。



ノートテイクの例

(聽)- 聽觉障害

(3)分(4)图(4) おはよう。はじめるよ。 今日は女を的障害者にとっての バリアフリー」(ニフリス話す。〇はこの10年で一般的 な用語になったし、はとんどの人が失いてるのでもまだ コンセンサスがない。心ときいて何を見いだする階段 とかスロープリーとかは見いつくよね?では「女和的」 とはどういうことか。実が、車いすと同時にじという コトバは普及したけどニれはじのごく一部でしかない。

だりアはチョにをいてされている。 17めは物理的だりる /雑さけータイプはってるよのあたしてしてこでめん。/どこまで 行った…? 2つめは付着ホウェバリア。こういったせんやクかい 文化的なしたっながる。願がときくこと、はなすこと が困ナンになる。 ろかは意志上のバリア、47めは 制度上のバリア・これは欠格全項がその何だよね。 /じゃあニニまででつづきにまた来辺。

∭ ポイント

- **▶**あらかじめ聴覚障害学生と相談し、略字や略号を用いたり、画数の多い漢字はカタカナで書く ※上記の『ノートテイクの例』の略語も、事前に相談していないと通じません。
- ◆読みやすい大きな文字で、行間をあけて書く
- ◆文章を中途半端に終わらせず、一文を完結させるように心がける
- ◆主観を入れずに、要点をつかんで書く。特に人名や数字、専門用語は聞きもらさないように注意する
- **▶**講義とは直接関係のない余談、聞こえてきた大きな音や周囲の会話などもできるだけ伝えるようにする